

財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

I 法人の概要（平成 24 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市小倉北区大手町 11 番 4 号

2 設立年月日

平成 2 年 10 月 20 日（平成 5 年 10 月 1 日 財団法人化）

3 代表者

理事長 吉崎 邦子

4 基本財産

329,246 千円

5 北九州市の出捐金

300,000 千円（出捐の割合 91.1%）

6 役職員数

- ・役員数 20 人
 - うち常勤 2 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）
 - うち非常勤 18 人
- ・職員数 44 人（うち北九州市からの派遣職員 6 人）

II 平成 23 年度事業実績

1990（平成 2）年に設立、1993（平成 5）年 10 月に労働省（現厚生労働省）の認可を受け財団法人となったアジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」の達成のため、これまで様々な活動を展開してきた。

「第 22 回アジア女性会議—北九州」では、災害をテーマに未曾有の東日本大震災と向き合い、復旧・復興の過程において活躍された国内の専門家からの基調講演と、被災地で支援活動をされた方や韓国からパネリストを迎え、パネルディスカッションを開催し、幅広い層の市民に向けて、災害時における男女共同参画の取組みの必要性について学ぶ機会を提供した。

海外とのネットワークづくりにも力を入れ、新たに、韓国・仁川発展研究院（IDI）と交流協力協定を締結し、今後の交流について協議した。

また、指定管理業務として、北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加えて、平成 23 年度より新たに北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）及び北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の管理運営を行った。

《一般会計事業》

【調査・研究事業】

調査研究事業として、KFAW 研究員による 2 つの共同研究（韓国とインド）、客員研究員による 2 つの調査研究、KFAW アジア研究者ネットワーク活動、プログラム普及やセミナーなどの開催による研究成果の発信、研究誌の刊行を行った。これらによって、研究者とのネットワーク化、調

査・研究部門の強化を図り、研究成果を広く共有した。

- (1) 共同研究（主席研究員研究、主任研究員研究）
- (2) 客員研究員研究
- (3) K F A Wアジア研究者ネットワーク活動
- (4) 研究成果の発信
- (5) 研究誌の刊行
- (6) デートD V予防教室の実施

【交流・研修事業】

「第22回アジア女性会議—北九州」を2日間にわたって開催し、2日目には、「K F A W 研究員報告会」と、2009年に学術交流協定を締結した韓国・忠清南道女性政策開発院（C W P D I）との「K F A W日韓共同研究報告会（第4回 日韓セミナー）」を開催した。

また、東アジアのポップカルチャーに焦点をあて、若者の行動様式からジェンダー意識を探るセミナーを開催した。

- (1) 第22回アジア女性会議—北九州
- (2) ジェンダーと開発セミナー
- (3) 国際理解促進事業
- (4) 海外の拠点づくりとネットワーク形成
- (5) 海外派遣

【情報収集・発信事業】

情報誌『Asian Breeze』の発行、K F A Wホームページの更新、海外通信員事業を実施して、アジア・太平洋諸国を中心とした海外について情報の収集や発信に努めた。

情報誌『Asian Breeze』では、UN Women のミチエル・バチレ事務局長による、女性に対する暴力の解決に向けたエッセイのほか、D V防止法施行10年を迎え大きな問題となっているデートD Vの予防について考える企画を連載し、国内外へ情報発信した。

また、情報発信の機能向上のため、活動記録等の掲載情報の充実や、多言語（韓国語・中国語）対応等、ホームページのリニューアルを行った。

さらに、「若者文化と男女共同参画」というテーマで海外通信員リポートを募集したり、市内大学生を『Asian Breeze』表紙に起用するなど、男性・若者を含む幅広い方々に興味を持ってもらえるような企画に力を入れた。

- (1) 情報発信事業（情報誌『Asian Breeze』の発行、ホームページのリニューアル）
- (2) 第21期海外通信員事業
- (3) 年間事業報告書作成
- (4) 図書収集

《特別会計事業》

【国際研修特別事業】

独立行政法人国際協力機構九州国際センター（JICA九州）から国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策 2011」を受託し、実施した。

【指定管理事業】

平成 23 年度から指定管理者として北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加え、北九州市立東部勤労婦人センター（レディスもじ）及び北九州市立西部勤労婦人センター（レディスやはた）の管理運営等を実施した。

(1) 男女共同参画センター事業業務

男女共同参画社会の形成に向けての活動を支援するために、男女共同参画事業をはじめとする各種事業やムーブフェスタ 2011、相談事業を実施した。ムーブフェスタ 2011 では、「世代を超えて未来へつなぐ～男女共同参画へのムーブメント」をキャッチコピーとし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

- ① 男女共同参画事業
- ② 市民活動支援・連携事業
- ③ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業
- ④ ムーブフェスタ 2011
- ⑤ 相談事業

(2) 男女共同参画センター情報業務

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書・資料の収集・提供などの情報収集提供事業や調査研究事業、情報誌『ムービング』の発行等の広報事業を実施した。

- ① 情報収集提供事業
- ② 調査研究事業
- ③ 広報事業

(3) 男女共同参画センター等管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修を行うとともに防災研修などの職員研修を実施した。また、貸室業務や他都市からの視察受入等を実施した。

- ① 施設維持管理業務
- ② 貸室業務
- ③ その他（視察受入れ、講師派遣）

(4) 勤労婦人センター事業業務

男女共同参画事業、就業支援事業、開館記念講演会等各種事業を展開した。就業支援事業では、就職に役立つ資格取得講座など女性の経済的自立へのチャレンジを支援する講座を多数実施した。開館記念行事では、各館の開所月（もじは 4 月、やはたは 5 月）に記念講演会を実施した。

- ① 男女共同参画支援事業

- ② 就業支援事業
 - ③ 市民活動支援・連携事業
 - ④ 相談事業
 - ⑤ 情報提供事業
 - ⑥ 開館記念行事
- (5) 勤労婦人センター管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修を行うとともに、防災研修などの職員研修を実施した。また、主催事業で利用しない施設について市民グループ・企業等に貸出しを行った。

- ① 施設維持管理業務
- ② 貸室業務

【指定管理施設自主事業】

男女共同参画社会の形成と個人の能力向上を目的に、受益者負担による事業を実施した。

(1) 男女共同参画センター自主事業

- ① 男女共同参画講座（英会話）
- ② 就業支援講座（医療事務講座、調剤報酬請求事務講座、ネイリスト検定3級講座、パソコン講座等）
- ③ 生活技術講座（弁当男子、パパママ講座等）
- ④ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座（ヨガ&ピラティス）

(2) 勤労婦人センター自主事業

- ① 男女共同参画支援講座（もじ 初心者パソコン、やはた リンパセルフケア講座等）
- ② 就業支援講座（もじ・やはた 各種資格取得講座等）

【北九州市大手町ビル維持管理事業】

北九州市から受託し、男女共同参画センター一部分を除く北九州市大手町ビルの施設管理及び入居団体との連絡・調整にあたった。

Ⅲ 平成23年度決算

1 貸借対照表 (総括表)

平成24年3月31日現在 (単位: 円)

科 目	合 計	一般会計	国際研修 特別会計	指定管理 特別 業務 計	指定 管理 施設 事業 計	北九州市大手町 ビル維持管理 事業 特別 会計	内部取引消去
I 資産の部							
1 流動資産	51,603,669	21,688,256	37,800	30,680,201	14,155,464	3,783,003	18,741,055
2 固定資産							
(1) 基本財産	329,245,773	329,245,773	0	0	0	0	0
(2) 特定資産	1,552,000	1,552,000	0	0	0	0	0
(3) その他の固定資産	4,517,375	1,480,839	0	3,016,496	20,040	0	0
その他の固定資産	335,315,148	332,278,612	0	3,016,496	20,040	0	0
固定資産	386,918,817	353,966,868	37,800	33,696,697	14,175,504	3,783,003	18,741,055
資産							
II 負債の部							
1 流動負債	28,506,814	10,820,583	37,800	29,618,118	2,988,365	3,783,003	18,741,055
2 固定負債							
固定負債	1,552,000	1,552,000	0	0	0	0	0
負債	30,058,814	12,372,583	37,800	29,618,118	2,988,365	3,783,003	18,741,055
III 正味財産の部							
1 指定正味財産	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0	0
指定正味財産	(323,166,095)	(323,166,095)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	33,693,908	18,428,190	0	4,078,579	11,187,139	0	0
一般正味財産	(6,079,678)	(6,079,678)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	356,860,003	341,594,285	0	4,078,579	11,187,139	0	0
正味財産	386,918,817	353,966,868	37,800	33,696,697	14,175,504	3,783,003	18,741,055
負債及び正味財産							

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成23年 4月 1日
至 平成24年 3月31日（単位：円）

科 目	合 計	一般会計	国際研修 特別会計	指 定 管 理 業 務 計 指 定 管 理 会	指 定 管 理 施 設 業 務 計 指 定 管 理 会	北 九 州 市 大 手 町 ピ ー ン 維 持 管 理 業 務 計 特 別 会 計
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基金	4,462,329	4,462,329				
財 産 運 用 費 益	678,500	678,500				
受 取 業 務 費 益	177,700	131,200	46,500			
自 主 業 務 收 入 益	23,623,010		4,673,973	23,623,010		
委 託 料 收 入 益	4,673,973	997,500				
北 九 州 市 委 託 金 収 入 益	345,101,500	79,200,000		310,196,000		33,908,000
受 取 補 助 金 等	79,200,000	20,000				
受 取 寄 付 金	20,000	301,372		68,910		17,589
雑 収 入 額	387,871	17,835,983				
他 会 計 上 の 繰 入 額	23,547,081	103,626,884	4,720,473	5,711,098	29,334,108	33,925,589
経 常 費 用	481,871,964					
(2) 経常費用						
調 査 費	19,310,264	19,310,264				
交 流 ・ 研 究 事 業 費	11,109,908	11,109,908				
情 報 収 集 ・ 発 信 事 業 費	9,954,893	9,954,893				
管 理 費	47,747,062	47,747,062				
国 際 研 究 事 業 費	3,848,250		3,848,250			
男 女 共 同 参 画 セ ン タ ー 事 業 費	36,952,290			26,864,859	10,087,431	
男 女 共 同 参 画 セ ン タ ー 情 報 費	15,916,025			15,916,025		
男 女 共 同 参 画 セ ン タ ー 管 理 費	183,210,825			183,210,825		
勤 労 婦 人 セ ン タ ー 事 業 費	19,846,220			11,756,627	8,089,593	
勤 労 婦 人 セ ン タ ー 管 理 費	57,309,203			57,309,203		
大 手 町 ピ ー ン 維 持 管 理 事 業 費	32,367,439					32,367,439
返 還 金 支 出	3,142,161	6,090,890	210,646	1,373,365		1,558,150
補 助 金 返 還 額	6,090,890		661,577	22,885,504		
他 会 計 上 の 繰 出 額	23,547,081	94,123,017	4,720,473	319,316,408	18,177,024	33,925,589
経 常 費 用	470,262,511					

当期経常増減額	11,609,453	9,503,867	0	▲9,051,498	11,157,084	0
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	1	1	0	0	0	0
当期経常外増減額	▲1	▲1	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	11,609,452	9,503,866	0	▲9,051,498	11,157,084	0
一般正味財産首残高	22,084,456	8,924,324	0	13,130,077	30,055	0
一般正味財産末残高	33,693,908	18,428,190	0	4,078,579	11,187,139	0
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産首残高	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0
指定正味財産末残高	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0
III 正味財産末残高	356,860,003	341,594,285	0	4,078,579	11,187,139	0

IV 平成24年度事業計画

【日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業】

1 事業概要

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、これまで「開発とジェンダー」に視点を置き、様々な事業を展開してきた。平成24（2012）年度においても、これまでの活動実績を踏まえ、各分野で多様な市民ニーズを的確に捉え、時宜にかなったテーマを選定し、事業の展開を図る。

昨年度に引き続き、交流協定締結機関との情報交換、国際セミナーの開催、交流・研修事業などを通して、一層の連携・強化に努めるとともに、海外のジェンダー関連組織との連携を推進する。

具体的には、アジア地域をはじめ世界の女性の地位向上と連帯・発展、活力ある男女共同参画社会の形成に寄与することを目指して、次のように事業及び予算を策定する。

2 業務概要

(1) 調査研究事業

共同研究、客員研究員研究、KFAWアジア研究者ネットワーク、研究誌の刊行等により、調査研究活動を充実させるとともに、プログラム開発、セミナーなどの開催を通して、研究の成果を広く国内外と共有し、北九州市および近郊地域、アジア、世界における男女共同参画社会の実現に貢献する。

① 共同研究

主席研究員研究「DV/デートDV予防教育の国際連携に関する調査研究—韓国・台湾・米国を中心に—」

主任研究員研究「ジェンダー主流化のアクションとアウトカム—JICA集団研修生のフォローアップ」

② 客員研究員研究

2組程度の客員研究員を公募し、調査研究を委託し、調査研究活動の強化と充実を図る。

③ KFAWアジア研究者ネットワーク活動

ジェンダーの視点から議論するセミナーを開催するとともに、KFAWのネットワークの拡大と充実を図る。

④ プログラム開発

市民の目線でアジアの女性問題について関心を持つ研究グループを2グループ程度募集し、研究方法などについてのコーチを行いながら成果をまとめる。

⑤ 研究成果の発信

ア KFAW研究員報告会の実施

KFAWの研究員および客員研究員による研究報告会を開催し、研究の成果を広く共有する。

イ セミナーなどの開催

男女共同参画社会の実現に向けて、調査研究活動の成果を北九州、アジア、世界の人びとと共有するために、セミナーなどの開催、報告書の出版、ホームページの掲載などを行う。

⑥ 研究誌の刊行

『アジア女性研究』第22号、*Journal of Asian Women's Studies*, Vol.21 を刊行する。

(2) 交流・研修事業

「第23回アジア女性会議—北九州」や国際セミナーなどを開催する。また、市民とアジア諸国との交流を通じて、ジェンダーに関する相互理解を深める事業を実施し、国際的視野をもつ人材の育成を図る。さらに、海外のジェンダー関連組織との恒常的なネットワーク形成に取り組む。

① 第23回アジア女性会議—北九州

フォーラムの主要事業として、アジア諸国・地域の女性たちが抱える問題を共に考え、これら諸国・地域との相互理解及び国際協力を通じて、アジアの女性の地位向上を図るため、国際会議を行う。

② ジェンダーと開発セミナー

ジェンダー問題の解決に向けて、さまざまな団体や機関とのネットワークの強化を図るため、講演会やセミナー等を開催する。

③ 国際理解促進事業

男性や若者にも親しみやすいテーマを題材に、男女共同参画について国際的視野で考えるセミナーを開催する。

④ 海外拠点ネットワーク形成事業

韓国の仁川広域市や忠清南道のジェンダー関連機関(女性センター等)と様々な交流を進め、共通する課題の解決や女性の地位向上、男女共同参画社会の実現に向けて、お互いに協力できる関係を築き、恒常的なネットワークの形成を目指す。

⑤ 海外派遣事業

2013年2月から3月にかけてニューヨークで開催される第57回国連女性の地位委員会に参加し、国際的な動向の情報収集やKFAWの活動や研究成果を発表する。

⑥ UN Women 活動への支援事業

認定NPO法人UN Women(国連女性機関)日本国内委員会の正会員団体として、途上国の女性の生活向上、ジェンダー平等を支援する国際的活動に参画し、地域委員会であるUN Women北九州のイベントの開催等の活動を支援する。

(3) 情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行による情報発信やアジア・太平洋諸国を中心とした海外通信員からの情報提供により、世界のさまざまな国や地域との情報のネットワークづくりに努めるとともに、ホームページの充実を図る。

① 情報発信事業

フォーラムの活動や国内外の男女共同参画に係る情報提供を通じてジェンダー問題についての理解を深めるため、フォーラムの情報誌『Asian Breeze』の発行やホームページの充

実を図る。

② 海外通信員事業

ジェンダーについて見識のある外国人等を対象に通信員を募集し、自らを取り巻く生活状況や女性の状況などをレポートしてもらう。提出されたレポートは情報誌『Asian Breeze』のほか、KFAWのホームページに掲載する。

③ 事業報告書の作成

フォーラム活動のPR及び記録用として年間事業報告書「アニュアルレポート」を作成する。

④ 図書収集

(4) 国際研修事業

開発途上国における男女共同参画社会の実現や各分野における女性の地位向上を目指し、ジェンダー主流化を立案、推進することのできる行政官を育成することを目的に、独立行政法人国際協力機構(JICA)九州国際センターの委託を受け、国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策2012」を実施する。

(5) 管理事業

アジア女性交流・研究フォーラム事業の適切な管理を行う。

【男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を図る事業】

1 指定管理事業

(1) 事業概要

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成23年度から北九州市立男女共同参画センターに加え、北九州市立東部勤労婦人センター及び北九州市立西部勤労婦人センターの管理運営を指定管理者として行っている。平成24年度も引き続き、北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培ったこれまでの経験や東部及び西部勤労婦人センターの実績や地域との関係等を踏まえ、男女共同参画推進を担う拠点施設3館を有機的に連携させて、次の理念及び基本方針のもとで各種事業等を展開していく。

① 理念

男女の人権の尊重、女性のエンパワーメント、固定的役割分担意識の解消

② 基本方針

ア 事業運営面

男女共同参画主流化、3館の有機的連携による拠点機能の強化、国際的な視点を取り入れた事業の展開、ムーブ運営で培った経験を生かした事業展開

イ 施設管理面

公平・公正、安全・安心、市民サービスの向上、環境への配慮、暴力団の排除

ウ 目標

事業の実施を行うにあたり、次のことを目指す。

- ・ 固定的な性別による役割分担意識の解消
- ・ 働く場における女性活躍の推進

- ・ 女性に対する暴力等人権侵害行為の根絶
- ・ 男性及び若い世代の利用の拡大

エ 事業の実施方針

上記目標を達成するため、次の観点で事業を実施する。

- ・ 男女共同参画のより一層の推進
- ・ 女性の社会的、経済的、政治的エンパワーメント
- ・ 女性に対する暴力の根絶及び相談機能の充実
- ・ 男性、若者の啓発及び次世代女性リーダーの育成
- ・ 国際協調の側面を加味した先進的取り組み

(2) 業務概要

① 北九州市立男女共同参画センター管理運営事業

ア 男女共同参画等事業業務

若い世代や働く女性、男性を中心に利用層の拡大を図り、他機関との連携もより積極的にとりながら男女共同参画事業、市民活動等支援・連携事業、相談事業、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業等を展開し、市民に学習の場や自己開発の機会を提供する。

また、中核となる「ムーブフェスタ 2012」を周年記念事業として7月に開催し、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、各種イベント等を実施するとともに、市民やグループとの交流・連携を推進し、市民活動の活性化等を図る。

平成 24 年度は、特に、次世代女性リーダー養成講座の充実を図るとともに、資格取得講座などの就労支援事業の充実、男性の育児・家事を促す講座の実施、相談事業の充実を行う。

イ 情報業務

ジェンダー（社会的性別）問題に関する国内外の図書・資料の充実を図り、団体・グループ情報等各種情報や男女共同参画に関する情報等を収集し、ホームページ等で提供する。

男女共同参画社会の形成の推進を図るための調査・研究の支援を行うとともに、ジェンダー問題に関する刊行物の発行に取り組む。平成 24 年度はムーブ叢書で取り上げた事項をテーマに講演会等を行う。

また、『ムービング』、『カティング・エッジ』などの情報誌を発行する。

ウ 管理業務

北九州市立男女共同参画センターの施設・設備について、環境にも配慮しながら充実を図るとともに、より円滑な管理運営に努め、安全で快適な施設を提供する。

また、一般市民、団体等に自主的な活動の場として、施設の設置条例等に基づき、施設の貸付を行う。

② 北九州市立勤労婦人センター（東部・西部）管理運営事業

ア 男女共同参画等事業業務

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成 23 年度から新たに勤労婦人センター（東部・西部）の管理運営を行ってきたが、平成 24 年度も引き続き設置目的及び同センターのこれまでの実績を踏まえつつ、男女共同参画推進の地域拠点として、男女共同参画支援事業、

就業支援事業、相談事業、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業などを地域に密着して実施する。資格取得講座等を中心とした就業支援講座など従来行ってきた事業メニューについては引き続き提供していくとともに、すべての事業に男女共同参画の視点を取り入れ、事業の充実を図る。

また、開館記念行事として、記念講演会を実施するとともに、市民活動の発表会等を行う。

さらに、ムーブフェスタにおける勤労婦人センターのPRや男女共同参画センターの出版物等を活用した事業の実施など3館が連携した事業を推進していくこととする。

イ 情報業務

女性に関する情報、就職に関する情報および勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供を行う。

ウ 管理業務

北九州市立勤労婦人センターの施設・設備について、環境にも配慮しながら充実を図るとともに、より円滑な管理運営に努め、安全で快適な施設を提供する。

また、一般市民、団体等に自主的な活動の場として、施設の設置条例等に基づき、施設の貸付を行う。

2 自主事業

男女共同参画社会の形成と個人の能力向上および就業支援を目的に、受講料等を徴収し、資格取得・能力向上等を旨とする講座や検定試験等を、北九州市立男女共同参画センター、北九州市立東部勤労婦人センター、北九州市立西部勤労婦人センターで実施する。

【北九州市大手町ビル維持管理事業】

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕により維持管理するとともに、光熱水使用の管理を行う。

また、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境等に関する連絡・調整を行う。

【北九州市立男女共同参画施設の公益目的外の貸与事業】

北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター（東部・西部）において、指定管理事業の一環として、公益目的以外の目的として使用する団体等に施設の貸付を行う。

V 平成24年度予算

1 正味財産増減計算書（総括表）

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日（単位：千円）

科 目	合 計	日本及びアジア地域の女性の地位向上支援事業	男女共同参画社会の形成支援事業	北九州市大手町ビル維持管理事業	男女共同参画センター公益目的的外貸与事業	法人 会 計
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基金	3,426,000	1,713,000	0	0	0	1,713,000
受取事業	922,000	461,000	0	0	0	461,000
指定管理施設自主事業	600,000	600,000	0	0	0	0
委託料	19,026,000	0	19,026,000	0	0	0
北九州市委託金	4,000,000	4,000,000	0	0	0	0
受取補助金	343,604,000	0	290,554,500	33,908,000	19,141,500	0
雑収益	81,125,000	56,787,000	0	0	0	24,338,000
経常収益計	92,000	0	0	0	0	92,000
経常費用	452,795,000	63,561,000	309,580,500	33,908,000	19,141,500	26,604,000
(2) 経常費用						
日本及びアジア地域の女性の地位向上支援事業	64,657,152	64,657,152	0	0	0	0
男女共同参画社会の形成支援事業	315,720,427	0	315,720,427	0	0	0
大手町ビル維持管理事業	33,908,000	0	0	33,908,000	0	0
男女共同参画施設の公益目的的外の貸与事業	19,141,500	0	0	0	19,141,500	0
管理費	26,744,208	0	0	0	0	26,744,208
経常費用計	460,171,287	64,657,152	315,720,427	33,908,000	19,141,500	26,744,208
当期経常増減額	▲7,376,287	▲1,096,152	▲6,139,927	0	0	▲140,208
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲7,376,287	▲1,096,152	▲6,139,927	0	0	▲140,208
一般正味財産期首残高	15,090,725	4,917,427	6,851,207	0	0	3,322,091
一般正味財産期末残高	7,714,438	3,821,275	711,280	0	0	3,181,883
II 指定正味財産増減の部						

当期指定正味財產增減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財產首殘高	323,166,095	161,583,048	0	0	0	0	0
指定正味財產末殘高	323,166,095	161,583,048	0	0	0	0	161,583,047
III 正味財產期末殘高	330,880,533	165,404,323	711,280	0	0	0	164,764,930

VI 役員名簿

平成 24 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
理事長	吉崎邦子	(財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長
専務理事	西本祥子	(財)アジア女性交流・研究フォーラム専務理事
理事	伊藤一義	北九州市PTA協議会会長
〃	江尻美穂子	津田塾大学名誉教授
〃	大野博子	北九州市公立学校等女性管理職の会副会長
〃	小川健一郎	財団法人北九州YMCA理事長
〃	窪田由紀	名古屋大学大学院教授
〃	近藤倫明	北九州市立大学学長
〃	ステファニー A. ウェストン	福岡大学教授
〃	関口博之	NHK北九州放送局局長
〃	田村慶子	北九州市立大学大学院教授
〃	富安兆子	高齢社会をよくする北九州女性の会代表
〃	平田トシ子	前 北九州市男女共同参画審議会会長
〃	藤岡佐規子	北九州市保育士会名誉会長
〃	堀内光子	文京学院大学大学院特別招聘教授
〃	松崎茂	北九州市副市長
〃	松村佐和子	北九州市女性団体連絡会議会長
〃	三隅佳子	UN Women 北九州会長
監事	白川祐治	株式会社福岡銀行常務取締役北九州本部長
〃	鈴木雅子	北九州市会計室長